

H31・4・15

第3号

通巻146号

# 学院通信

発行  
金光学院  
719-0111  
岡山県浅口市  
金光町大谷1486  
TEL (0865) 42-3115  
FAX (0865) 42-3114



新しい学院正門の表札

## 「二つの願い成就」

学院長 高橋 寛志



昨年五月十五日に入学した本科学院生が、四月十五日に卒業する。学院長になって初めての学院生達である。学院長のお役を頂いた時、私なりの願いを立てた。

それは、二つあって、一つ目は、「学院生達を卒業までに、神人にする」ということであつた。ここで言う「神人」とは、神心を現す人といった意味である。この一つ目の願いは、この度の学院生は、早くから神心を現している人が多く、早々に達成された感がある。そのように思ったのは、六月十五日から特科生が入学してきたが、その時、特科生が自分たちを助け、親切にしてくれる本科生に神心を感じた、と驚いていたことを聞いたからである。

そして、もう一つの願いが、人の話を真摯な姿勢で聞くことができるように、ということであつた。人の話を真摯に聞く姿勢ができる、その人は伸び続けていくことができる。そういう人になつてもらいたい、という願いを立てたのである。そして、その願いも後期に入ってくると、だんだん実現していることを聞くことが多くなつてきた。直信教会に参拝した時、ある教会長は、「皆さんが真摯に聞いてくださるので、ついつい力が入って、時間を大幅にオーバーして申し訳なかつた」と言われた。それから、第二回目の修徳殿入殿でも、「学院生の皆さんが、本当に一生懸命話をメモしながら聞いている」ということを聞いた。また、二月に立正佼成会福山教会に研修に行かせていただいた時、会員の方は学院生の親世代の人が多かったが、法座というグループ別での話し合いの時、「こういう若い人がいると、まだまだ日本は大丈夫という気がする」と言ってくれました。

私は、「こういう学院生に育ててくれればいい」と神様が言ってくれたように感じた。学院生達は本当によく育ててくれたと感謝している。

# ご卒業おめでとう

## 先輩諸師からのごとば

### 「同期」とともに



埼玉県・大宮教会長  
松本 尚 師

昨年(2023年)の十月十日、本部広前生神金光大神大祭の後、金光から岡山に向かう電車に乗りました。すると学院の同期生(女性教師、年齢的には先輩)に数年振りに会いました。再会を喜び合い、四人掛けのボックス席に並んで座って近況報告や学院時代の思い出話に花を咲かせていると、目の前に座っていた七十歳前後の男性に声を掛けられました。

「私は金光教の信者ですが、お二人のお話を聞いていて、年齢もだいぶ離れているようだけれどもとても仲が良いように思われます。学院の同期というのは本当にいいものですね」とおっしゃられたのです。

私は学院を卒業してから三十年近く経

ちますが、同期に会えば一瞬にして学院時代に戻りますし、離れていても同期のことは忘れることはありません。一生の信心の友を学院で得られたと思っ

ています。それが同期なのです。

学院ご卒業おめでとうございます。ここからの道は決して平坦ではありません。社会の厚い壁に立ちつくすこともあるでしょう。でもあなたは一人ではありません。一年間苦楽とともにした同期と励まし合い、祈り合いながら、御取次をいただき世と人の助かるお役に立っていただきましょう。

### 何事も神様のお差し向け



石川県・小松教会長  
辻井 学 師

金光様の御取次とご祈念を賜り、関わりある方々の祈りと、そして私たち

## 日程

(冬期在籍教会実習後から卒業まで)

一人ひとり「神の氏子」と申され、その立ち行きを願い通し、お働きくださっている神様に包まれて、皆さんがこうして学院生活を無事にお過ごしになられたことは、本当に尊く、有難いことに存じます。ここから皆さんと共に神様のご用に当たらせて頂けることは非常に頼もしく、今から楽しみでなりません。	この一年、それぞれに様々な人たちが、数多くの出来事と出会われたことと思います。	かつて私も皆さんと同じように、学院生活を過ごさせて頂きました。時にうれしく、有難いと思えることもあれば、その時はなかなか素直に受け止めきれない事柄もありました。しかしその全てが、こうした祈りの中で紡がれた、私が天地にあつて真実助かる道を歩んでいくための最高最善のご縁であった。後で振り返ってみると、そう思われることばかりです。これらは皆さんにとっても、まったく同様であります。	学院での体験を足掛かりとして、皆さんが、人が助かり神様のお喜びとなる生活を、さらに日々生き生きと歩んでいかれますよう、ここからのご用成就を心よりお祈り申し上げます。
12月	1月	3月	4月
29	5	6	2
帰院式	7・8 教典研究発表	6	28
大掃除	8・9 教話実習②	7	27
30	11 他宗教研修(井山宝福寺)	8	26
年頭御用奉仕	15	9	25
31	16	10	24
1/3 求道の日	17	11	23
第七回	18	12	22
他宗教研修	19	13	21
(立正佼成会 福山教会)	20	14	20
他宗教研修	21	15	19
(部屋替え)	22	16	18
第三回 部屋替え	23	17	17
礼典実習	24	18	16
13	25	19	15
在籍外教会実習	26	20	14
20	27	21	13
第三回修徳殿入殿・女子	28	22	12
11	29	23	11
第三回修徳殿入殿・男子	30	24	10
学院・春季霊祭	31	25	9
第三信心レポート懇談	1	26	8
23	2	27	7
学院・春季霊祭	3	28	6
27	4	29	5
第三信心レポート懇談	5	30	4
23	6	31	3
学院・春季霊祭	7	1	2
27	8	2	1
第三信心レポート懇談	9	3	12
23	10	4	11
学院・春季霊祭	11	5	10
27	12	6	9
第三信心レポート懇談	13	7	8
23	14	8	7
学院・春季霊祭	15	9	6
27	16	10	5
第三信心レポート懇談	17	11	4
23	18	12	3
学院・春季霊祭	19	13	2
27	20	14	1
第三信心レポート懇談	21	15	12
23	22	16	11
学院・春季霊祭	23	17	10
27	24	18	9
第三信心レポート懇談	25	19	8
23	26	20	7
学院・春季霊祭	27	21	6
27	28	22	5
第三信心レポート懇談	29	23	4
23	30	24	3
学院・春季霊祭	31	25	2
27	1	26	1
第三信心レポート懇談	2	27	12
23	3	28	11
学院・春季霊祭	4	29	10
27	5	30	9
第三信心レポート懇談	6	31	8
23	7	1	7
学院・春季霊祭	8	2	6
27	9	3	5
第三信心レポート懇談	10	4	4
23	11	5	3
学院・春季霊祭	12	6	2
27	13	7	1
第三信心レポート懇談	14	8	12
23	15	9	11
学院・春季霊祭	16	10	10
27	17	11	9
第三信心レポート懇談	18	12	8
23	19	13	7
学院・春季霊祭	20	14	6
27	21	15	5
第三信心レポート懇談	22	16	4
23	23	17	3
学院・春季霊祭	24	18	2
27	25	19	1
第三信心レポート懇談	26	20	12
23	27	21	11
学院・春季霊祭	28	22	10
27	29	23	9
第三信心レポート懇談	30	24	8
23	31	25	7
学院・春季霊祭	1	26	6
27	2	27	5
第三信心レポート懇談	3	28	4
23	4	29	3
学院・春季霊祭	5	30	2
27	6	31	1
第三信心レポート懇談	7	1	12
23	8	2	11
学院・春季霊祭	9	3	10
27	10	4	9
第三信心レポート懇談	11	5	8
23	12	6	7
学院・春季霊祭	13	7	6
27	14	8	5
第三信心レポート懇談	15	9	4
23	16	10	3
学院・春季霊祭	17	11	2
27	18	12	1
第三信心レポート懇談	19	13	12
23	20	14	11
学院・春季霊祭	21	15	10
27	22	16	9
第三信心レポート懇談	23	17	8
23	24	18	7
学院・春季霊祭	25	19	6
27	26	20	5
第三信心レポート懇談	28	21	4
23	29	22	3
学院・春季霊祭	30	23	2
27	31	24	1
第三信心レポート懇談	1	25	12
23	2	26	11
学院・春季霊祭	3	27	10
27	4	28	9
第三信心レポート懇談	5	29	8
23	6	30	7
学院・春季霊祭	7	31	6
27	8	1	5
第三信心レポート懇談	9	2	4
23	10	3	3
学院・春季霊祭	11	4	2
27	12	5	1
第三信心レポート懇談	13	6	12
23	14	7	11
学院・春季霊祭	15	8	10
27	16	9	9
第三信心レポート懇談	17	10	8
23	18	11	7
学院・春季霊祭	19	12	6
27	20	13	5
第三信心レポート懇談	21	14	4
23	22	15	3
学院・春季霊祭	23	16	2
27	24	17	1
第三信心レポート懇談	25	18	12
23	26	19	11
学院・春季霊祭	27	20	10
27	28	21	9
第三信心レポート懇談	29	22	8
23	30	23	7
学院・春季霊祭	31	24	6
27	1	25	5
第三信心レポート懇談	2	26	4
23	3	27	3
学院・春季霊祭	4	28	2
27	5	29	1
第三信心レポート懇談	6	30	12
23	7	31	11
学院・春季霊祭	8	1	10
27	9	2	9
第三信心レポート懇談	10	3	8
23	11	4	7
学院・春季霊祭	12	5	6
27	13	6	5
第三信心レポート懇談	14	7	4
23	15	8	3
学院・春季霊祭	16	9	2
27	17	10	1
第三信心レポート懇談	18	11	12
23	19	12	11
学院・春季霊祭	20	13	10
27	21	14	9
第三信心レポート懇談	22	15	8
23	23	16	7
学院・春季霊祭	24	17	6
27	25	18	5
第三信心レポート懇談	26	19	4
23	27	20	3
学院・春季霊祭	28	21	2
27	29	22	1
第三信心レポート懇談	30	23	12
23	31	24	11
学院・春季霊祭	1	25	10
27	2	26	9
第三信心レポート懇談	3	27	8
23	4	28	7
学院・春季霊祭	5	29	6
27	6	30	5
第三信心レポート懇談	7	31	4
23	8	1	3
学院・春季霊祭	9	2	2
27	10	3	1
第三信心レポート懇談	11	4	12
23	12	5	11
学院・春季霊祭	13	6	10
27	14	7	9
第三信心レポート懇談	15	8	8
23	16	9	7
学院・春季霊祭	17	10	6
27	18	11	5
第三信心レポート懇談	19	12	4
23	20	13	3
学院・春季霊祭	21	14	2
27	22	15	1
第三信心レポート懇談	23	16	12
23	24	17	11
学院・春季霊祭	25	18	10
27	26	19	9
第三信心レポート懇談	28	20	8
23	29	21	7
学院・春季霊祭	30	22	6
27	31	23	5
第三信心レポート懇談	1	24	4
23	2	25	3
学院・春季霊祭	3	26	2
27	4	27	1
第三信心レポート懇談	5	28	12
23	6	29	11
学院・春季霊祭	7	30	10
27	8	31	9
第三信心レポート懇談	9	1	8
23	10	2	7
学院・春季霊祭	11	3	6
27	12	4	5
第三信心レポート懇談	13	5	4
23	14	6	3
学院・春季霊祭	15	7	2
27	16	8	1
第三信心レポート懇談	17	9	12
23	18	10	11
学院・春季霊祭	19	11	10
27	20	12	9
第三信心レポート懇談	21	13	8
23	22	14	7
学院・春季霊祭	23	15	6
27	24	16	5
第三信心レポート懇談	25	17	4
23	26	18	3
学院・春季霊祭	27	19	2
27	28	20	1
第三信心レポート懇談	29	21	12
23	30	22	11
学院・春季霊祭	31	23	10
27	1	24	9
第三信心レポート懇談	2	25	8
23	3	26	7
学院・春季霊祭	4	27	6
27	5	28	5
第三信心レポート懇談	6	29	4
23	7	30	3
学院・春季霊祭	8	31	2
27	9	1	1
第三信心レポート懇談	10	2	12
23	11	3	11
学院・春季霊祭	12	4	10
27	13	5	9
第三信心レポート懇談	14	6	8
23	15	7	7
学院・春季霊祭	16	8	6
27	17	9	5
第三信心レポート懇談	18	10	4
23	19	11	3
学院・春季霊祭	20	12	2
27	21	13	1
第三信心レポート懇談	22	14	12
23	23	15	11
学院・春季霊祭	24	16	10
27	25	17	9
第三信心レポート懇談	26	18	8
23	27	19	7
学院・春季霊祭	28	20	6
27	29	21	5
第三信心レポート懇談	30	22	4
23	31	23	3
学院・春季霊祭	1	24	2
27	2	25	1
第三信心レポート懇談	3	26	12
23	4	27	11
学院・春季霊祭	5	28	10
27	6	29	9
第三信心レポート懇談	7	30	8
23	8	31	7
学院・春季霊祭	9	1	6
27	10	2	5
第三信心レポート懇談	11	3	4
23	12	4	3</

神様がお喜びになる生き方を



平成29年度卒業生  
大阪府・本田教会  
青山 信明 師

学院生の皆様、ご卒業おめでとうございます。十一か月前、緊張した面持ちで入学されていた頃を、懐かしく感じています。信行輔導期間を共に過ごさせて頂く中で、皆さんの成長を日に感じる事ができ、嬉しい気持ちや、頼もしい気持ちにならせて頂き、そして最後は少し寂しい気持ちで信行輔導期間を終えさせて頂きました。

学院生活では、神様と向き合い、自分と向き合い、取り組んだこと、気づいたこと、改まること、いろいろとわかり感じたことでしょう。その中で、大事に感じたことを指針に、人が助かる御用に、神様が喜ばれる生き方に繋がりますように願っています。今、自分の生き方や御用が、神様がお喜びになっっているかどうかは、正直、確信が持てないですが、願いを立てさせて頂き、日々御用に取り組んでいます。卒業後、一人となって改めて同期という仲間の存在や、お徳に包まれたたご

霊地での修行環境のありがたさを感じています。これからは、それぞれの場所での修行が始まります。新しい出会いがあり、どんな環境になっても、頂いたご神縁を大切に、共に育て頂きましょう。  
これからも皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

卒業する皆様へ



平成29年度卒業生  
大阪府・天王寺教会  
見浦 美紀 師

ご卒業おめでとうございます。無事に皆様が一年間の修行を終えられたこと、またこれから教師として一緒に御用できることをとても嬉しく思います。OB期間を終えた後も、本部に足を運ばせて頂いていましたので、皆様の様子はよく見させてもらっていました。最初は慣れないことだらけで、本当に大変だったと思います。ですが日を重ねる毎に緊張の表情が薄れ、今年三月に目にした時は本当に逞しい姿があり、感動致しました。

さて、これから皆様は学院を離れて



教典研究発表

在籍教会に戻る方や、違う方向に進む方もいると思います。私が今皆様に伝えたいことは、この一年間を忘れないでほしいということです。今日まで送ってきた学院生活は、皆様にとってとても貴重であり、教師として最高の財産になっていくものだと思います。学院で学んだこと、取り組んだこと、たくさんのご縁を頂いたことすべてが未来の自分の糧になっていくと思います。ですからどうか、先を楽しみに御用に当たって頂きたいと思います。教師として共に、これからのよろしくお願ひします。



調饌実習 (裁ち物・御饌袋)



年頭御用奉仕 (直会交付)



障子張り (学院講堂)

# 学院生活を振り返って

## 学院生の声

合わないおかげ、会うおかげ



熊本県・南関教会  
北山 龍馬

「人と人とは、合わないことはあっても、合わないことはない」これは、私が好きなアニメの中の台詞です。この

アニメを見たのは二年ほど前ですが、学院に来て、初めてこの台詞の意味が理解できたような気がします。

私は大学卒業を機に、学院に入学させていただきました。地元の同級生は新社会人となって苦労が始まっていく中、「皆に恥ずかしくない一年にしよう」というのが、学院入学に際しての私の願いでした。

学院生活も半分が過ぎた冬の在籍教会実習のことです。久しぶりに地元の友人達と食事に行く機会があり、いろいろと話をする中で一人の友人が私に対して「お前、学院に行つてから大人になったなあ」と言ってくれました。



修徳殿入殿

それまでの私が子どもだったという笑い話でもありましたが、自分の成長を実感でき、素直に嬉しく感じました。

何が成長に繋がったのか。それはこの一年でたくさんの人たちと出会えたことだと思います。自分と合う人はもちろん、自分と合わない人からもたくさんの方のことを教えて頂いたように感じます。そう思った時、人と人が出会うことは、それだけとんでもないおかげなのだと思えました。合わないからと出会いを拒むのは、おかげを拒むことだったんだと思えました。

私は本当に素晴らしい同期達に出会えました。偶然に偶然が重なって、一人と一人とが出会った、奇跡の出会いです。学院の関係だけで終わらず、このお道のルーキー同士力を合わせて、それぞれの御用にしっかりと取り組ませて頂きたいと思えます。

### 「どうせするなら喜んで」



三重県・勢津教会  
笠井佳美子

「どうせするなら喜んで」これは最後の修徳殿入殿で聞いた私の心にとても

響いた言葉です。学院卒業も間近になり、私はこの学院生活の中で、一体どれだけのことを喜んでさせていたか、考えておきました。右も左も分らず、不安な気持ちで始まった学院生活。とても素敵な同期生と出会うことができ、共にここまで修行成就のおかげをいただき、本当にありがとうございます。

学院で一番の修行だなと感じていたことは、奉仕教話でした。私は人前で話すことが大の苦手であり、今まで避けて避けて来た人生でした。今年本科生が二十四名なので、月に一回以上奉仕のお役が回ってきます。奉仕が近づくと、「お話どうしよう。困った」というのが私の口癖でした。

そのような中、残り二回の奉仕を前に行われた入殿で前述の言葉を聞き、神様からの御用を頂きながら苦手なことに目が行き、喜んでさせていただけなかったなど反省させられました。同じ御用をさせていただくだけでも、気持ちの持ちよう、おかげの受け方も変わるのだと改めて感じました。

卒業後、頂くどんな御用も「喜んで」させていただけたい私でありたいと思ひ、これからも日々稽古に励んでいきたいと思ひます。

# 11月の歩み

## ■他宗教研修

他宗教研修として、一月十一日に臨濟宗井山宝福寺、二月六日に新宗教である立正佼成会の福山教会を訪問した。宝福寺では、法話、座禅修行、作務など、寒中に伝統的な仏教の修行を体験した。



井山宝福寺 (座禅)



井山宝福寺 (集合写真)



立正佼成会 (大法座)

立正佼成会福山教会では、教団の概要説明を受け、教義内容や教団が大切にしているところを学ぶことができた。また、車座になり悩みや問題を語り合う法座も体験した。学院生それぞれが、違う宗派の実際に触れ、広く宗教の働きや役割を理解することができた。そして、ここまで学んできた本教についても今までとは違った視点で見直し、自らの使命と役割を確かなものにする機会ともなった。また、多くの方から、学院生へ期待と励ましの言葉をいただき、大変ありがたいことであった。

## ■選択別研修

選択別研修を一月十五日から二月五日まで実施した。四つのコースの中から、各自の関心に沿って一つを選択し、結果取次者としての資質を高めるため研修に臨んだ。また、二月七日に全体報告会を行い、各々の活動内容を共有した。

### 教会・布教 (三名)

教会布教を担う教師としての資質を高めるために、教話実習、直信教会参拝、神習などに取り組んだ。選択者は、「先生方から教話の感想を伺うと、自分では気づかなかった信心の観点があり、うれしかった」「神習では、教祖様は、その日に出会った人でも一心に祈念されていたことに気づいた」などの感想を語っていた。



教会・布教 (御神米調整)

### 青少年育成 (七名)

本教における青少年育成の願いと方法を学び、指導者としての基礎的な知識や技能を学んだ。また、霊地青少年女会の小学生を対象とした集会を企画・実施する「集会実習」と、自然の教場と言われる野外での活動を体験する「野営実習」を実施した。

### 奉仕 (十名)

特別養護老人ホーム「寿光園」、障害者支援施設「あお空」や共同作業所「ワーク菩提樹」での研修や、車椅子実習、DVD学習などを行った。特に施設での研修では、日常の活動への参加や交

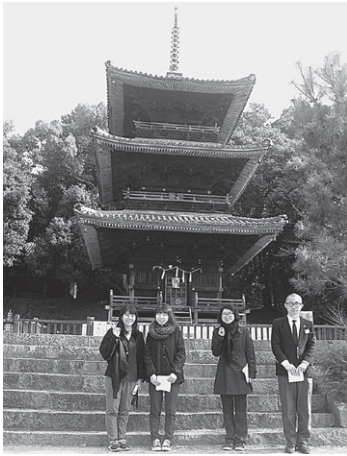


青少年育成 (野営実習)

流会などを通し、様々な人々と触れ合い、今まで持っていた偏見や誤解が解け、相手のことや自分自身のこと、そして障がいを持つ人々を取り巻く環境などを知る機会となった。教師を目指すものとして、大きな示唆を得ることができた研修であったと感じている。



奉仕 (車イス研修)



教学 (五流尊瀧院)

### ■教学 (四名)

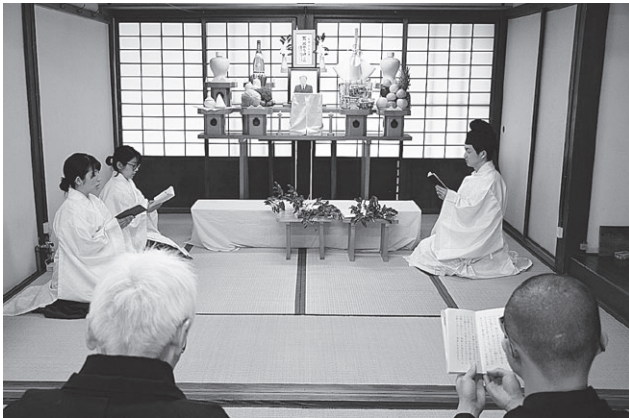
信心の自己吟味とされる教学に対する理解を深めることを目的として、学院での学びを土台に、各自の問題意識に基づいてテーマを設定してレポートを執筆し、それをもとに検討懇談会を実施した。また、聖蹟巡拝として瑜伽大権現、五流尊瀧院、堅盤谷の金神社を、平和学習としてホロコースト記念館を訪問し、それぞれ報告書を作成した。

### ■礼典実習

礼典実習では、前期の「祭式」及び「祭詞」の授業で習得した基礎的内容をもとに、葬儀式、五十日祭並びに合祀祭、結婚式、地鎮祭の各諸祭を、乾物、野菜、果物などを調饌し、実際に祭服を着て祭員を務め、本番に近い形で執り行った。各諸祭の意味合いや次第を改めて確認し、実際の設えを時間内に皆で分担して整える中で、模擬祭典であっても少しでも良い祭典となるよう心を配る姿が見られた。学院生全員がいずれかの諸祭で祭主を務め、自らが起草、浄書した祭詞を奏上する貴重な機会ともなった。卒業後の御用も視野に入れ、それぞれが真剣に実習に取り組み、在籍外教実習においても、この学びを活かすことができたようである。



礼典実習 (結婚式)



礼典実習 (告別式)

### ■在籍外教実習

在籍外教実習 (二月二十日～三月三日) は、本部広前の修行生として、在籍教会以外の教会活動の実際に加わり、教会長の信心や教会現場での布教の実際に触れることを通して、これまでに培った自らの信心・求道姿勢を吟味し、自己の役割を明確にしていくことを願いとして実施している。

様々な期待や不安を抱えながら緊張した面持ちで出発したが、たくさんのお神縁をいただき、一人ひとりが神様の働きを感じた十二日間の実習だったようだ。実習先で信心に触れ、布教の実際を見させていただく中で、多くのことを学び、気付き、そして、それぞれが卒業後の自らのあり方について、様々な示唆を得たようである。

### ■学院正門・玄関新表札設置

学院正門・玄関の表札は、長年の風雨にさらされて文字が判読困難となり、また表札自体も老朽化が著しいため、この度、新しい表札を作成し設置しました。新たな表札は、文化活動・書道講師の中桐真彦先生(岡山・五軒家教会)に揮毫をお願いしました。ぜひ一度来院してご覧ください。